

2021 年度 卒業生アンケート
「東京女子大学の教育ならびに卒業生の就業状況に関する調査」
集計結果報告

2023 年 3 月
東京女子大学 自己点検・評価委員会

調査概要

- ・ 目的：卒業生を対象に、本学での学修の成果や卒業後の就業状況について尋ね、今後の教育の向上や改善につなげていく
- ・ 方法：Web 調査
- ・ 調査対象者：1572名（内訳：2011年3月卒787名、2018年3月卒785名）
- ・ 調査実施期間：2021年12月24日～1月23日
- ・ 回答者
- ・ 有効回答者数：530名（内訳：2011年3月卒249名、2018年3月卒281名）
 - 重複回答（27名）を除外
 - 有効回答率が8割未満のもの（14名）を除外（図1）
- ・ 有効回答者数：33.7%

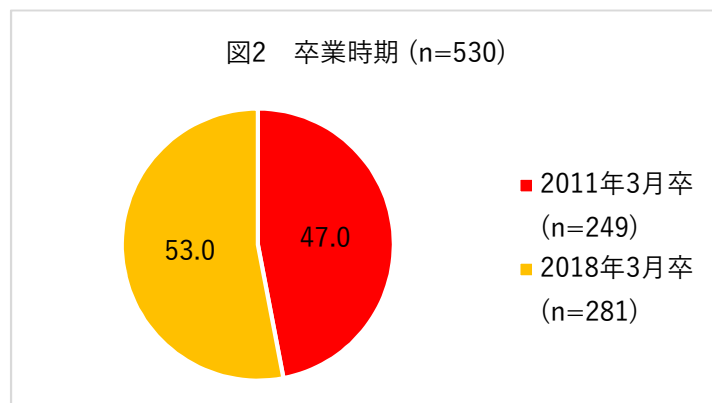
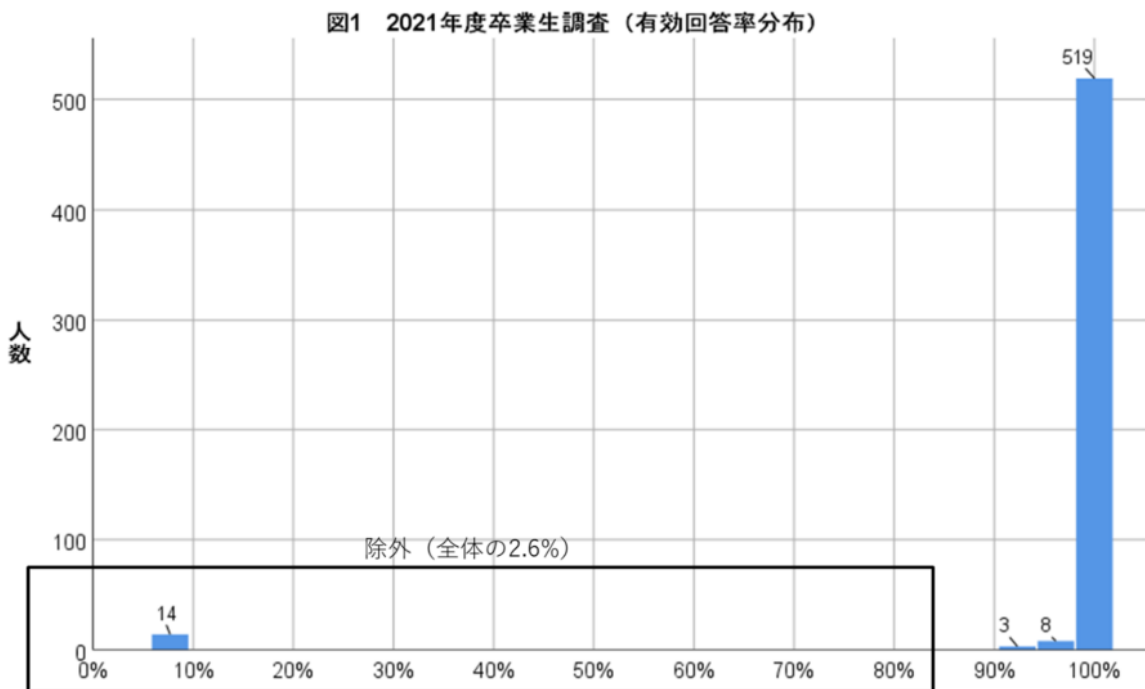


図3 卒業時の学科 (2011年3月卒) (n=249)

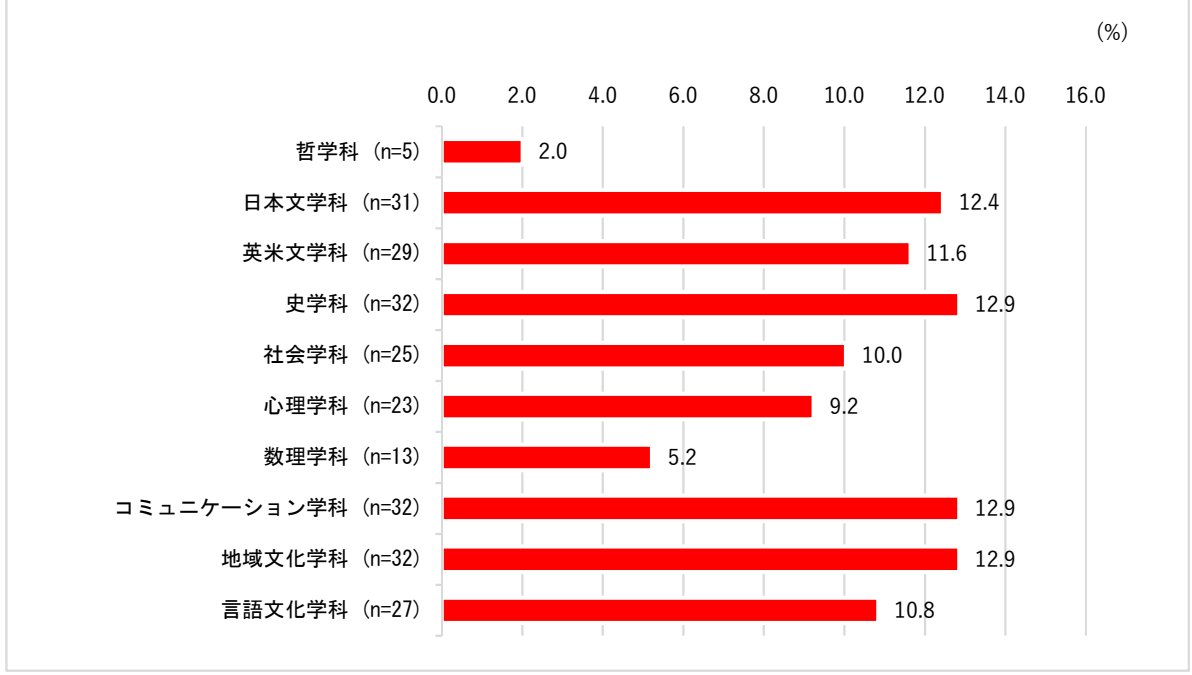
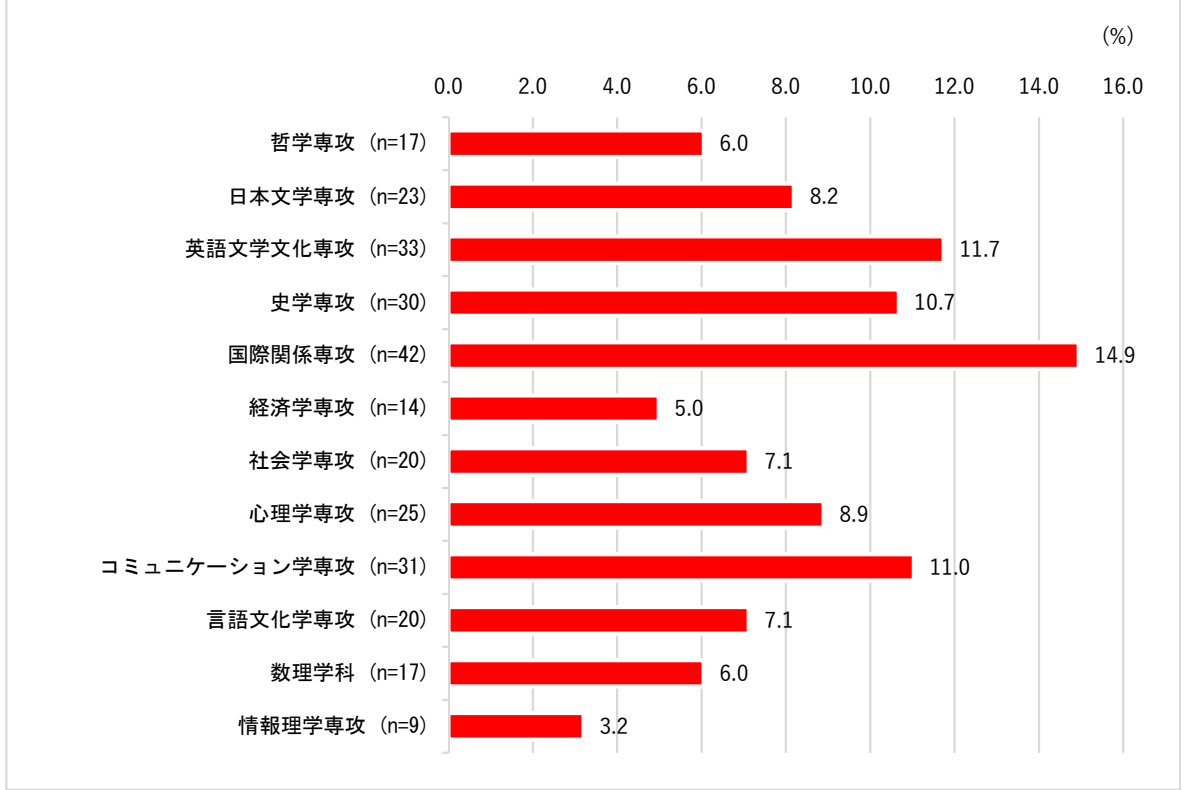


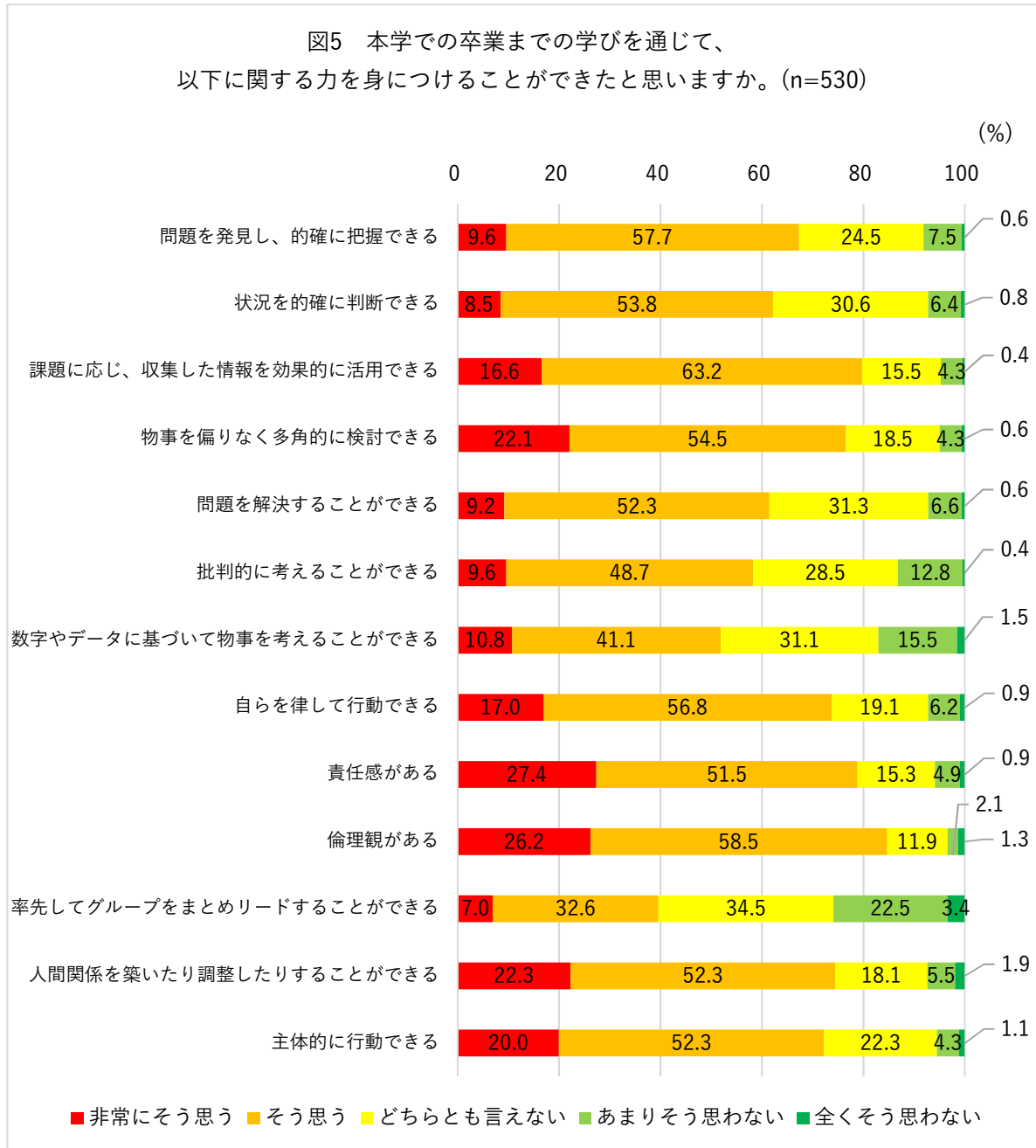
図4 卒業時の専攻 (2018年3月卒) (n=281)



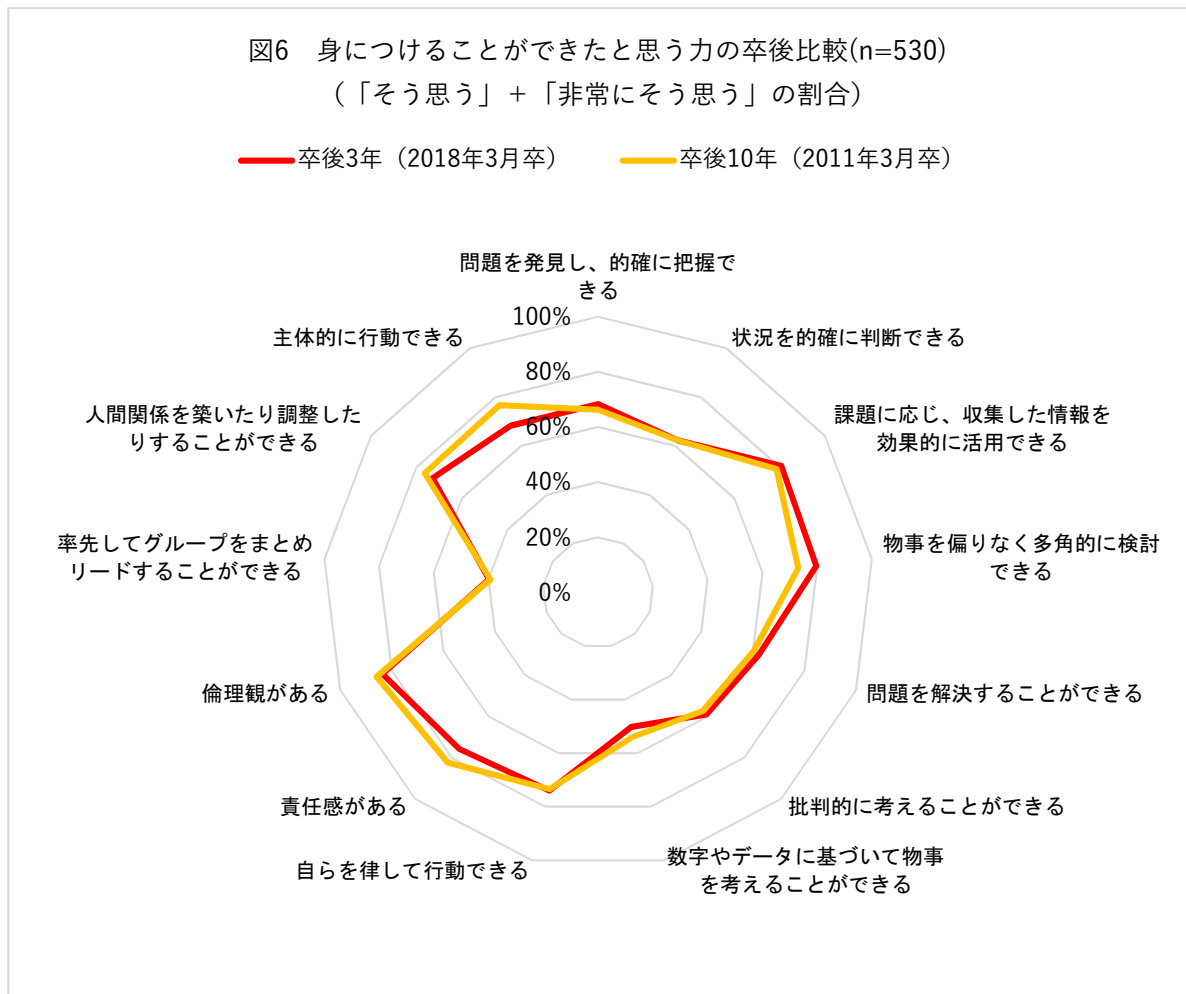
調査結果

1. 身につけることができたと思う力・スキルについて

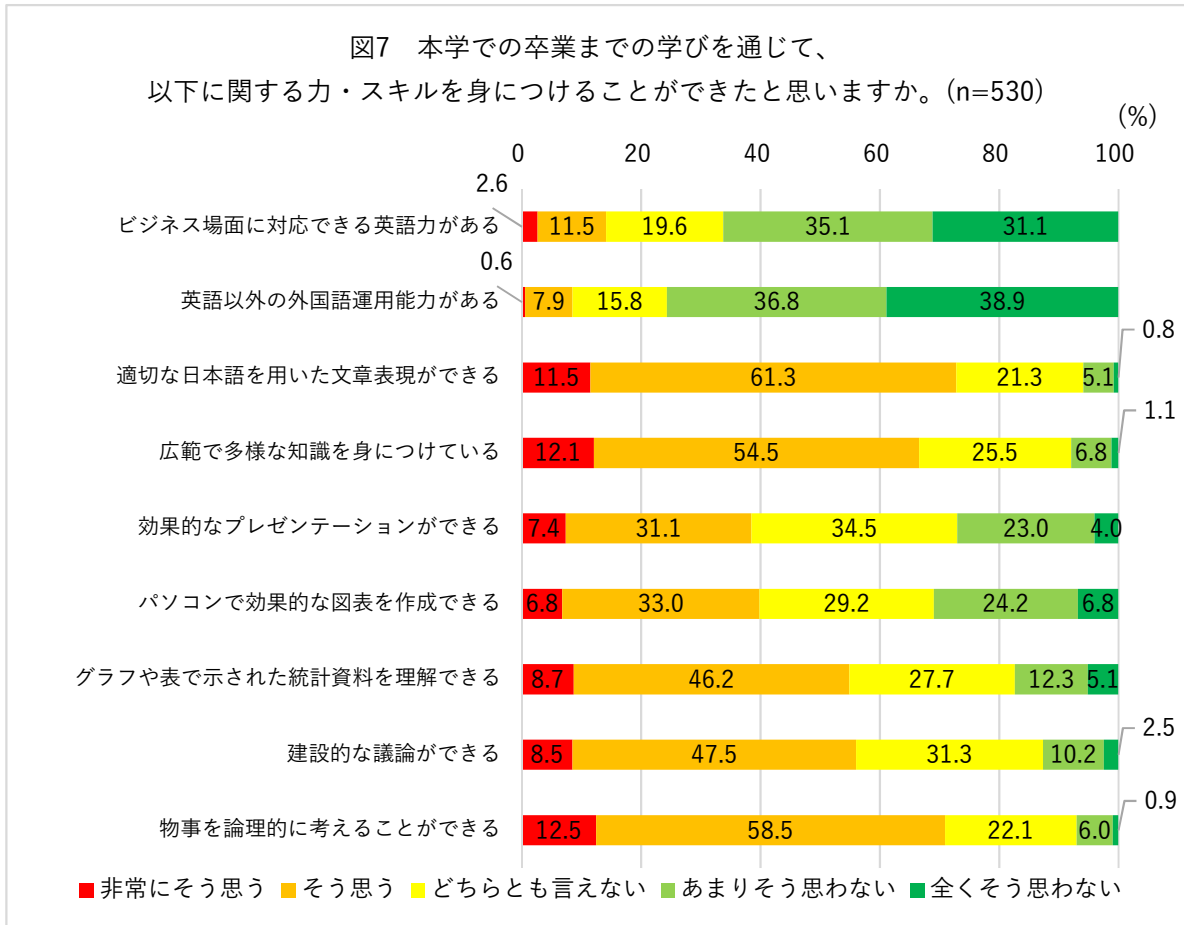
「身につけることができたと思う力」について尋ねた結果を図5に示す。「批判的に考えることができる」「数字やデータに基づいて物事を考えることができる」「率先してグループをまとめリードすることができる」以外の項目で、肯定的な回答（「非常にそう思う」「そう思う」）が6割を超えた。昨年と同様、「倫理観がある」が最も高くなった。



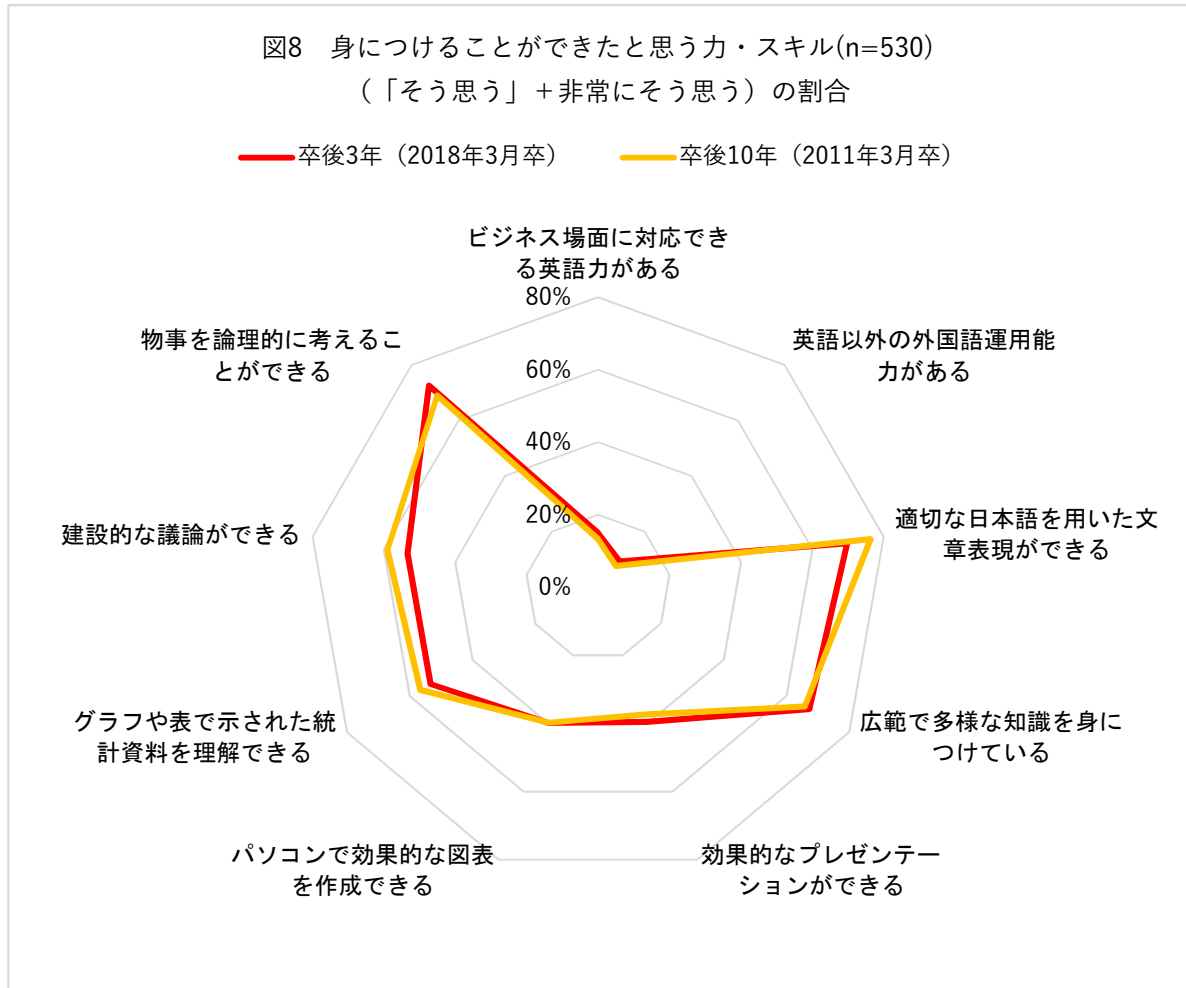
卒業年別で傾向を比較するため、「身につけることができたと思う力」の肯定的な回答の割合のレーダーチャートを作成した(図6)。「責任感がある」「主体的に行動できる」は2011年3月卒の卒業生が、「物事を偏りなく多角的に検討できる」は2018年3月卒の卒業生が高い傾向にあった。



「身につけることができたと思う力・スキル」について尋ねた結果を図7に示す。「適切な日本語を用いた文章表現ができる」「広範で多様な知識を身につけている」「物事を論理的に考えることができる」で肯定的な回答（「非常にそう思う」「そう思う」）が高く、6割を超えた。



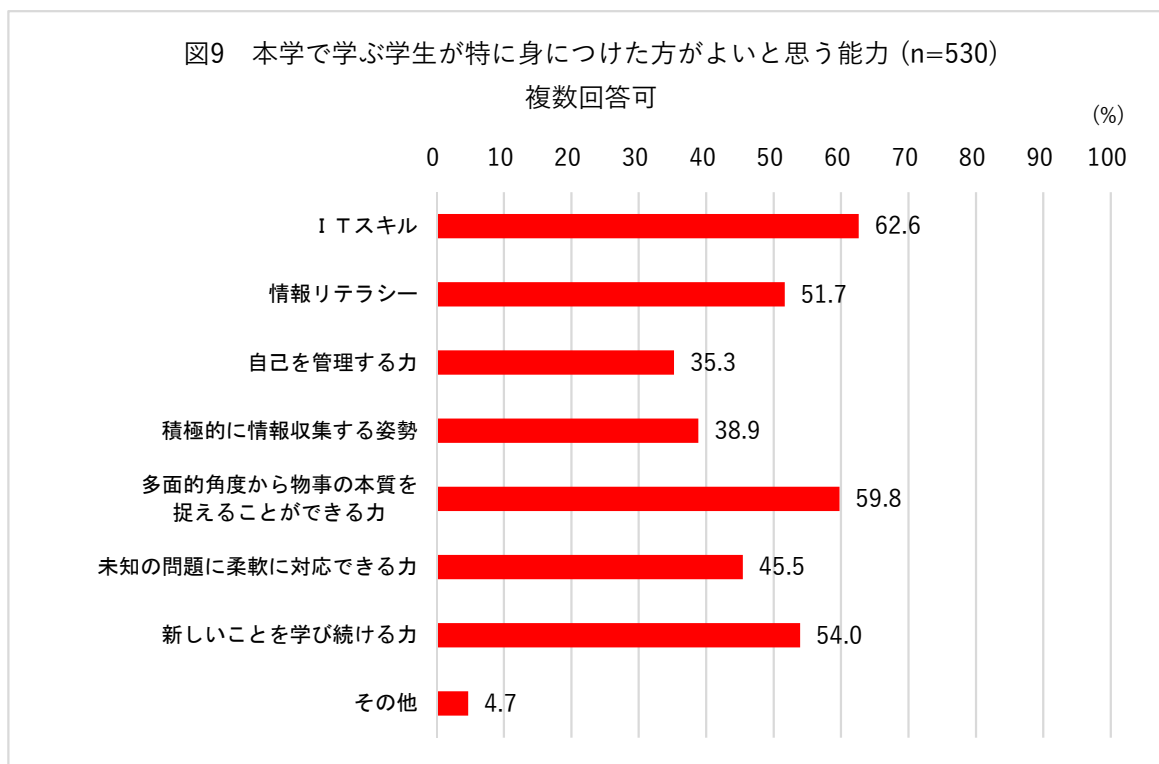
「身につけることができたと思う力・スキル」も卒業年別で傾向を比較するため、肯定的な回答の割合でレーダーチャートを作成した（図8）。「適切な日本語を用いた文書表現ができる」「グラフや表で示された統計資料を理解できる」「建設的な議論ができる」で2011年3月卒の卒業生が、「物事を論理的に考えることができる」で2018年3月卒の卒業生が高い傾向にあった。



2. 身につけたほうがよいと思う能力

「本学で学ぶ学生が特に身につけたほうがよいと思う能力」について尋ねた結果を図9に示す。

「ITスキル」「情報リテラシー」「多角的角度から物事の本質を捉えることができる力」「新しいことを学び続ける力」の項目では、5割以上が身につけたほうがよいと回答した。昨年と同様、データサイエンスに関する回答が上位に食い込んでおり、国内企業のデジタルトランスフォーメーション推進の加速により、必要となる機会が増加している可能性もあるだろう。本学が創立以来行っているリベラル・アーツ教育、2022年度から新設されたデータサイエンス副専攻で強化していきたい。



「その他」

その他の具体例の記述には以下のようなものがあった。

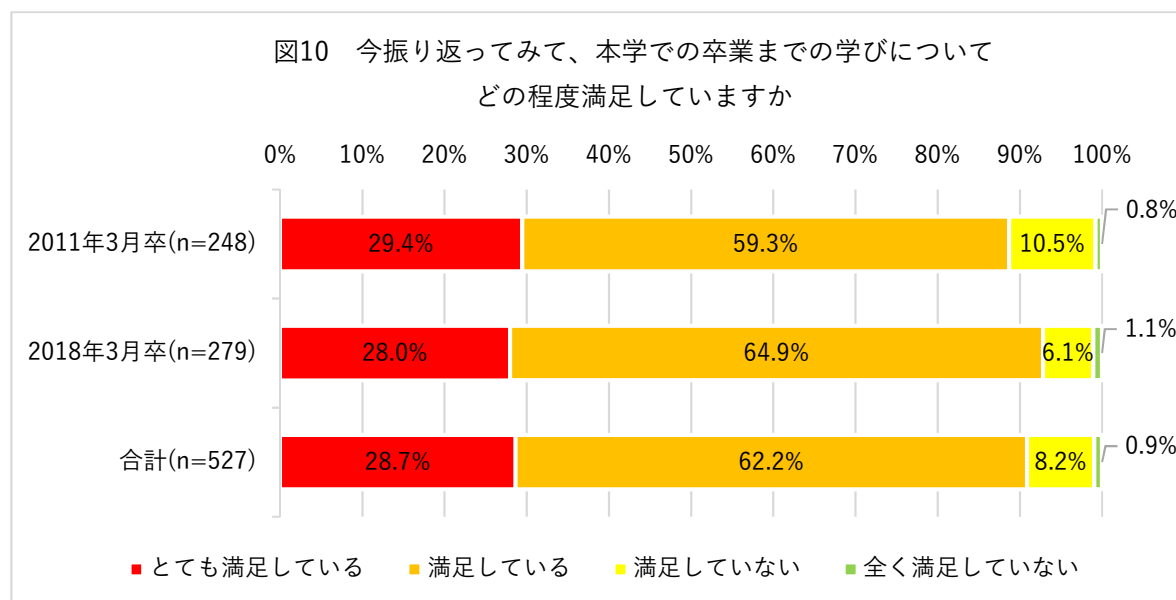
- ・ コミュニケーション力
- ・ よい人間関係を継続的に築けるようにする力
- ・ 適切・適度な人間関係の構築
- ・ 周りの意見、考えを受け止める力
- ・ メンタルマネジメント力
- ・ データサイエンスの基礎力
- ・ ITスキル (マクロ、VBA)
- ・ リーダーシップ
- ・ 集団をまとめる力
- ・ 主体的に物事に取り組む姿勢
- ・ 論理性
- ・ ロジカルシンキング

- ・ 論理的思考力
- ・ 物事の本質は何かを考え、見極める力
- ・ 素直に物事を捉える能力
- ・ 英語力
- ・ 実践的な英語力
- ・ その他の語学スキル
- ・ 情報発信能力
- ・ 世の中の動きや目の前の事柄に意見を待ち、積極的に発信する力
- ・ 日本語でのプレゼンスキル
- ・ 経済時事情報の理解
- ・ 経済的な知識
- ・ 給与以外の型にはまらない収入の得方、働き方
- ・ 資産形成と資産運用能力
- ・ 社会保険と年金の仕組みについての知識
- ・ 税金などの社会システム、女性に関する助成など社会インフラに対するアクセス方法
- ・ 社会人として自立していくための基本的なマナーや接遇など
- ・ 価値を生み出す力

など

3. 本学での学修に対する満足度

「本学での卒業までの学びについてどの程度満足していますか。」と尋ねた所、図 10 の結果となった。肯定的な回答（「とても満足している」「満足している」）の割合が 2011 年 3 月卒では 8 割、2018 年 3 月卒では 9 割を超えた。



4. 本学の教育成果

リベラル・アーツ教育

「本学は『専門性を持つ教養人』を育成すべくリベラル・アーツ教育を行っていますが、卒業後にどのように活かされているでしょうか。」に対する自由記述を「肯定的」「否定的」「肯定的+否定的」「その他」の4つのカテゴリに分けた結果を以下に示す。

肯定的 (n=129)

IT スキルの習得により、仕事で積極的に手を上げて進んで作業に責任を持つことができた。
LGBT や女性経営者はじめ、ニュースで取り上げられる事柄について、大学で学んだり触れたりしていた知識をもとに、ある意味先入観なくフラットに捉えることができています。
アメリカ社会学を中心に学びましたが、旅行などの際に知識として持っていて良かったと思っています。また多様性が求められる時代に柔軟に考えられるようになったと感じています。
あらゆる分野に興味を持つようになった。視野が広がった。
ある分野に特化することなく、様々な分野の知識に触れたことで、社会に出てからも多様な考え方を受け入れられる時に活かされていると思う。
いろんなことに興味を持ち、知識を深める姿勢を持ち続けることができています。
キャリアイングリッシュ課程で培った英語力で、貿易の仕事を任せられ働いていました。
キャリアイングリッシュ課程で勉強したクリティカルシンキング、プレゼンテーションなどのスキルが業務での状況整理、説明時に役立っていると感じる
キャリアイングリッシュ課程を専攻していたこともあり、膨大な課題に対して1人だけでなくチームで解決することも学びました。英語でのプレゼンは外資企業で働いている今も生きています。いろいろなバックグラウンドを持つ人間の集まる職場で物事を多角的に理解分析する力は CE 生ならではのスキルかと思います。
さまざまなことに挑戦する力
さまざまな分野の教育を受けることで、視野が広がった
ジェンダー教育とキリスト教学がとても多角的でよかったです。
ジェンダー教育によって社会を多角的に見ることができるようになった
ダイバーシティやジェンダーについてなど、物事を柔軟にとらえることができています。
たくさんの教養を得て、幅広い考え方で物事を捉えることができています。
バランス感覚を持った思考
ビジネスマンとして仕事をする上で論理的思考、課題設定力など多角的に自分で考え動けるようになった。また社会人として出会う人との対話、人間関係構築に役立っている。
ひとつの知識を極める姿勢や、ひとりの人間としてどう生きていくかを考えることは、今の自分を作っていると思う。
プログラミングの勉強は、今の仕事で多くのデータを処理するときなどに間接的に活かしていると思う。
もっと勉強すればよかったと思う時がありますが、心理学やジェンダー学の副専攻を取得する中

<p>で知ったことは、自分の人との関わり方に生かされていると感じています。(偏見なく意見を聞いているかどうか？公平に物事を考えられているか？を振り返る姿勢に繋がったと感じています)</p>
<p>リベラル・アーツの持つ言葉の意味自体が広いため在学中はその意味合いをよく理解できていなかったようにも思いますが、多様な考えや意識の高さを持つ学生たちに囲まれて勉強できたおかげで、自分の立ち位置を理解し、個性を生かしたり英米文学を多角的に学ぶことができたと思います。</p>
<p>リベラルアーツにより、専門以外の様々な科目を学ぶことが当たり前だったので、自分の興味のままに学んだ授業内容や出会った先生の考え方、人柄すべてが自分の価値観形成や物事を多角的に見る力になっていると感じる。様々な科目に触れる機会が当たり前だったことに感謝。</p>
<p>リベラルアーツのおかげで、理系文系問わず、知識や技術を適切に運用することができる。</p>
<p>リベラルアーツの重要性は実利的でなく生き方、幸福感、世界の見方などに関係するので長いスパンで見たら活かされていると思います。</p>
<p>リベラルアーツ教育の方針により広く様々な内容の授業を受講できたことは自身の教養になったと思います。</p>
<p>一つの物事に対し多角的な広い視野を持って見つめることができていると思います。</p>
<p>一方的に物事を見極めるのではなく、状況や多面的な情報を基に臨機応変に対応できている。</p>
<p>英語は職場で使っているので、活かされていると思う。</p>
<p>英語学の知識を英語科教員として生かしている</p>
<p>課題を常に分析し、それから適切な行動に移せている。</p>
<p>海外と取引する仕事なので、海外の文化や宗教などの授業の知識は生かされていると思います。</p>
<p>学生時代に出会った様々なタイプの人々との関わりを通し、仕事の中でも多角的な物事の見方をするように心がけています。</p>
<p>学部卒業後、大学院に進学し、より専門性を高めた</p>
<p>活かされていると思います。社会人になってから、よく感じるのは品や教養はお金では買えないということです。</p>
<p>関心があり学びたいと思うことを卒業後でもアクセスできるのがとても助かります。</p>
<p>客観的に相手の文化的背景や個々の人生観を見ようとする力がつき、人間関係で円満にコミュニケーションをとる事が出来ている。</p>
<p>教育で得た知識がそのまま生かされているわけではないが、教養の根として、世代の違う方々と話す時や新しく知識を身に着ける上で非常に役に立っている。</p>
<p>教員として働くうえで、多角的な視点を持つことができている。</p>
<p>教員として働く上で、専門知識を教授する他、各学生の興味に沿った教養を身につけることで、各学生に柔軟に対応できている。</p>
<p>教員になり、生徒に還元できている</p>
<p>教職に就いたので、授業の中で具体的な説明ができるよう、大学時代に学んだ専門性の高い知識を活用しています。</p>

<p>教養の授業で専攻に関係なく、授業を選択できたことで、自らの興味を深められたという経験が学ぶ姿勢を絶やささない、好奇心を大切にすることに繋がっていると思う。</p>
<p>教養を学んだことで自分の中の引き出しが増えた。日常生活で会う様々なことに触れる時、大学時代に学んだ教養が導入となり興味を持つきっかけになっていると感じる</p>
<p>興味のある分野に対する知識習得意欲の維持に繋がっている</p>
<p>興味関心が増えるのはいいことだと思います</p>
<p>業務一つ一つにどんな意味があるのか深く考えて行動する点。</p>
<p>経済学専攻でしたが、経済学的に物事を見ようとする姿勢が身についています。</p>
<p>現在、県立高校で国語科教諭として働いています。海外研修の生徒引率(教員枠2名)でオーストラリアへ行きましたが、「大学のときの90分ひたすら英語を喋り続ける授業よりマシだろう」「せっかくだから、生徒と一緒に現地の生活や文化を学んでこよう」という前向きな気持ちで臨めました。</p>
<p>現在は外資系信託に勤務している。特殊知識を求められる中で、業務を纏められていると思う。</p>
<p>現在事務職なので、配属された部署で、専門的な知識を身につける姿勢が必要です。「専門性をもつ」という点についてはとても活かされていると思います。</p>
<p>言語習得を学び、教員として生徒の学びを促す助けになっています。</p>
<p>顧客の接待</p>
<p>広い分野について学ぶことができたので、現在の職業でも思わぬところで役立つ事があります。</p>
<p>講義で勉強した内容や、卒論で得た知識が、ニュースを理解することに役立っています。</p>
<p>困難な社会情勢の中、今まで培った情報収集能力と知識を使い、自分の意思で適切な判断・行動を選択することに活かしていると感じます。</p>
<p>最近の話ですと、生命保険会社に勤務しているのですが、well-beingについて意見を求められた時に「女性のウェルビーイング」の授業で学んだことが役立ちました。また、学科の垣根を越えた様々な授業で学んだことは、社会人になってからも書籍を選ぶ際の指針になってます。</p>
<p>在学中に学んでいた心理学とは違う分野に進みましたが、専門性をもつための姿勢自体は畑が違ってても持ち続けることができたと思います。</p>
<p>在学中に身につけた英語力で英語圏の社員とのコミュニケーションに役立てている。</p>
<p>仕事をする際に活かされている。</p>
<p>仕事柄、いろんな職種の方と接することがあり、繋がりを持つためには広い知識が必要となります。少しでも理解があると話が弾むこともあるので、一般教養を学んでよかったと思います。</p>
<p>史学科で学んだことを生かして教員として世界史を担当しました。西洋絵画を鑑賞する際に、歴史的な背景の他に宗教的な面から考えて何が主題になっているかなど、異なる視点からも物事を見られるようになったと思います。</p>
<p>私は営業職をしておりますが幅広い年齢、バックグラウンド、職業の方と一定のレベルでお話しできることはリベラルアーツ教育のおかげかと考えます。</p>
<p>時事ニュースや、旅行先などで新しい文化や思想に触れる際に、キリスト教の文化的、思想的背</p>

景を理解しながら、物事を見ることができるようになった。
自学科以外のいろんなジャンルの授業を受け知識を得られたことで、主に職場の年代が違う方とのコミュニケーション時の引き出しとして活かされています。
自分ごととして関心を持つ
自分で調べたり、研究・探求することが仕事の基本になった
自分の興味あることを広く学ぶことができたおかげで、卒業後も興味あることをとことん調べるようになりました。知ることの楽しさ面白さを四年間で得ることができたからだと思っています。
自分の興味関心が今までなかったものに対して、自分の関心を向けることは仕事をしていく中で重要で、自分の関心がないトピックでも率先して取り組まなくてはならない場面において役立ちました。
自分の専攻以外に情報処理科目を積極的に履修していたので、PC関係のことにも詳しい人として、周りからよく頼られるようになったと思います。
自分の専攻以外の授業も沢山履修することができ、広い知識を得られたので、色々な話題に対応できたり、自分の可能性を考えるきっかけにもなった。
自分の専攻学科のみに限らず、さまざまな授業を選択できた環境だからこそ多角的な物事の考え方ができていると思う。仕事をしている今も、思い出す言葉やシーンが多くある。
自分の専門を持つことは自信に繋がるので、非常に重要である。
自分の専門分野だけでなく、さまざまな専門分野の方との会話を楽しめている。
自分の専門分野に関する知識は勿論のこと、他の分野についても自由に授業を取れたため、幅広い教養が身に付いたと実感しています。実際社会に出ると、ビジネスの場面でのちょっとした雑談や世界のことを勉強したからこそ出てくるアイデアがあり、活かされています。
実用主義に捉われない学びは、人間性の幅を広げ、本質を捉える力につながっていくと考える。
社会問題を理解するための基礎的な教養(社会の構造、思想など)を身に付けたと考えており、問題に対する自分の考え・スタンスを導き出すことに役立っています
主体的に考える力がリベラルアーツだと認識しております。仕事で新たな業務を行う時に、多角的にものを考えてから行動に移すことが出来ています。
受講した講義をきっかけに、その道への進路を決めた
宗教教育が、自らの倫理観の形成に役立った。
就職し、いろんな人種や文化、考え方の違う人達と多く接する事があります。その際に拒否感を持つ事なく肯定的に接することができるのは、リベラルアーツ教育が活かされているのかなと思います。
少人数ゼミで討論する力物事を多角的に見る力が物事を論理的に伝えることに役立っています
常に「多様性」という言葉を大切に人間関係を構築したり、学びに応用したり、問題解決に活かしたりしています。
情報収集能力、資料作成能力等
色々なことに興味を持つようになった

<p>色々なバックグラウンドの人たちと協力、協調しながらも自己の主張や要求を通せること。</p>
<p>新しく学び続ける楽しさ、根本的な方法を身につけることができた</p>
<p>新卒でアパレル関連の会社に入社。その後、福祉の分野に興味を持ち、働きながら社会福祉士(国家試験)を受験し、合格。現在、児童相談所職員として、「子どもの権利」を守る仕事に従事。挑戦する知性は大人になった「今」でも活かされている。</p>
<p>人生で起こる答えのない問題を自ら情報収集し、自分の意見を持つことができるようになりました。他の人の意見にも耳を傾けられるようになりました。他の人の言動や行為から、その人の気持ちを考えられるようになりました。</p>
<p>人生を楽しむ姿勢</p>
<p>生きていく力、学び続ける力に活かされていると思います。私は2回転職していて、今は公務員として勤務しています。環境の変化に負けず、自分で道を切り開けたのは大学での学びがあったからだと思っています。</p>
<p>専攻に縛られず、生きる上で必要な知識を身につけられたことが卒業後役立っている。</p>
<p>専攻は国際関係でしたが、入学してからは他専攻の方が興味深いと思うようになり、幅広い分野の授業を取りました。金融関係に就職した今となっては、経済や金融についての授業も取っていた事で役に立っているのだと思います。</p>
<p>専攻以外でも興味をもった物事について教養を得られることは物事の見方を増やすという意味でプラスに働いている。</p>
<p>専攻科目だけでなく、幅広い分野を学ぶ機会があった為、色々なジャンルの人とコミュニケーションを取ることが出来るように思う。</p>
<p>専攻外の授業で得た知識（プログラミング）が役に立っている。具体的には業務の自動化やチームサイトの構築時に役に立っている。また、キャリアイングリッシュ課程で英会話やプレゼンの練習が仕事で役に立っている。効果的なパワポの作成や英語で相手に語りかけることでプレゼンだけでなく、英語の電話での交渉に役に立っている。</p>
<p>専攻外の授業も受講できる環境であったため、各専攻ごとで物事を考える時の視点の違いを感じることができました。違いを捉えることで、広い視点で事柄どうしを比べてみるなど、自分の思考が広がりました。</p>
<p>専門的スキル（IT）を学んだり身につける力をつけられる。</p>
<p>専門的な知識を深めるためにはひとつの事柄だけを学ぶだけではなく広く好奇心をもってさまざまな知識を獲得することが大切で、そうすることで専門的分野が深まっていくことを知ることができた。その経験を活かして視野を広げるようにしている。</p>
<p>卒業後、専門性をより深めるため大学院に進学し、臨床心理士の資格を得た。さまざまな観点から思考する力、表現力を身につけられ、仕事の土台になったのが大学での学びだと感じている。また、社会人になって仕事が忙しい中では運動のためにまとまった時間やエネルギーを取ることが難しく、フィットネス？(太極拳の授業)で習った体操を今でもやっている。体の状態が仕事に影響することもあるため、若い時に自分の体を整える方法を授業という枠組みの中で学ぶきっかけ</p>

<p>けをいただけてありがたかった。</p>
<p>他大ではあるが大学職員のため、東女にて学んだことはほぼ生かしている。</p>
<p>多角的視点から物事を考えられるようになりました。</p>
<p>大学で学んだことが卒業後に直接仕事に結びつかなくても、未知のことにぶつかった時に情報収集する方法にスムーズに辿り着けたり、様々な分野の友人、教員の方との繋がりで解決できることが多いです。</p>
<p>独りよがりにならない思考を身につけられた。意思の決定権は自分で持ちつつ、人の意見を上手に取り入れて、最適な形で答えを出していくような社会生活を送れていると思う。</p>
<p>日本に限定せず世界中の文化について学んだり、他専攻の授業を選択して学んだりしたことで、幅広い視点を身につけられた。現在世界中の方を接客する職業に就いている為、非常に活かされていると思う。</p>
<p>普段の生活や職場で、様々な知識を活用出来ている。</p>
<p>副専攻制度を活用し、女性学を学びました。自分自身の生涯とキャリアについて学生のうちから考えることで、社会に出てからも指標を立てることができています。また、私自身が誰かのロールモデルになれるように立ち振る舞っていこうと、苦しい場面では自身を奮い立たせています。</p>
<p>幅広い教養と深い専門性を身に付けるという観点から考えると、現在の仕事において、取り扱っている様々な商品に関する知識を身に付けること及び特に担当している商品に関するより深い知識を習得するよう心掛けて仕事をしていることにつながっていると感じています。</p>
<p>幅広い教養は、働く中で生きていると感じます。また、ジェンダーについて考えた経験は多様性を重んじる思考につながっていると思います。</p>
<p>幅広い教養を身につけたことにより得意先とのアイスブレイクに役立ちました</p>
<p>幅広い教養を身につけるためのカリキュラムを通して、何事に対しても探究心をもって取り組める心が養われたと思います。</p>
<p>幅広い知識が様々な場で活かしている</p>
<p>幅広い年齢の方々と関わる際に教養の幅が広いと話のタネになったり、そこから関係を築くことができると思うことがある。</p>
<p>幅広い分野に興味を持つことや、追求する力が特に活かされている。多角的な視野を持つことができ、追求することにより論理的思考が付いていると考える。</p>
<p>幅広く教養を身に付けられたことで、社会に出てからは常識がない等で恥ずかしい思いをすることがないように感じる。また卒業してからも、まだ勉強してみたいという学習意欲が比較的高いと思う。</p>
<p>物事に対して突き詰める力が活かされているように感じる。</p>
<p>物事に対する多角的な視点と、幅広い分野への好奇心・探求心を持っていること。学び続けることを意識して、日々知識・経験を得て、自身の価値観をアップデートするよう努力できる点。</p>
<p>物事を多角的に見て他者を尊重する姿勢が身につく、社会の多様性を認識することができていると思う。</p>

物事を多角的に見る自分の可能性を最大限に活用できる自分の価値を見出せる
物事を多面的に見る力
物事を様々な観点でみることができる
偏ることなく、比較的様々な情報に触れようと心掛けており、仕事をする上でも、より多くの人と関わり、多くの情報を得ることが出来ていると感じる。
本学にて、女性が自立して社会に貢献していくスタイルを学び、総合職として生涯設計を立て、常に上昇志向を持ち続ける精神を保つことができています。
様々なことに興味を持って取り組むことができている点は東京女子大学にて培われた基礎だと思うので、色々な仕事がある中で、どんなことにも楽しさや良さを見つけて、前向きに取り組むことができている。
様々な人がいて、様々な考えがあることを前提に物事を考えるようになった。
様々な選考の人と講義で知り合うことが多く、その人間関係が今も財産になっている。
様々な知識を知りたい、学びたいと思い、行動できることが、仕事やプライベートに活かされている。
様々な分野で柔軟に対応できる考え方を学んだことで、転職などの際に全く違う分野の仕事にも柔軟適応できたと思います。
様々な分野の話についていけるため顧客先での会話の幅が広がった。
論理的思考

②否定的 (n=2)

学生時代の学びが足りず、専門性を持っていないので、活かす能力がない。
正直、そこまで専門性を持ってなかったように思う。当時は、社会で生かせることもあるだろうと思っていたが、社会は女性に期待しておらず卒業後、教育されたことが生かせず辛かった。

③肯定的+否定的 (n=19)

学生時代学んだ情報系の知識をもとにSEとして仕事に従事している。学んだ知識ではカバーしきれない部分も多々あるが学生時代に身につけた課題解決力は役立っていると思う。
学部で学んだ専門性が直結する場面は少ないが、「学ぶ姿勢」や「教養の身につけ方」を得ることができ、卒業後の日々でも活かすことができていると思う。
教養は会社での集団生活など幅広いシーンで活かされていると思うが！専門性については仕事私生活共に活かされる場面はほぼない。
現在の仕事で専門性は直接活かされていません。ただ、営業職で働いているので、お客様とのアイスブレイクで専門的知識をお話することで会話の種になっています。仕事で疲れた時、学生時代学んだことを思い出し、趣味で本を購読したりするとリフレッシュされます。
在学中の知識について、仕事には生かせていないが問題を解決するための行動には役立っている
自分の専門分野を活かす場面はほとんどありませんが、一つのこと(仕事を)しながら、そのことに役立ちそうな周辺知識や技能を見幅広く身につけ、よりそのことへの理解や課題を見つけ、解決に向かうことができます。

<p>実資格に強い大学ではないし教養課程も一般的な範囲だったと思うのでよく分からないが、本学の強みはなんといっても少人数による指導の密さにあると思うので、教授と話した何気ない時間が大人と話すことに慣れさせてくれたと思う。あと、大学教授は普通のビジネス感覚とはずれていて、あまり付度しない人が多いので、忌憚のない意見が面白かった。</p>
<p>主婦をしていく上ではあまり役立っていませんが、仕事をしていて困ることがあまりないので、広く教養は身につけられていると思います。</p>
<p>色々な部門を学ぶことができる点は、視野が広がりとても良かったと思っている。その反面、専門性という面は生徒次第である印象。業者紹介+必要知識みたいな授業があったらもう少し食欲に知識を得ようとして、専門性の向上に繋がったのでは…と思う。</p>
<p>数理学科を卒業しましたが、銀行の営業として新卒入社したので、専門性は活かせませんでした。ただ、情報はやっていて役に立ったと思います。</p>
<p>専業主婦の為、直接的には活かせていない。「学び続ける姿勢」はどのような道を選んでも必要だと思う。</p>
<p>専門性においては学部専攻によると思いますが、英語教育が充実していたことが社会に出てからも活かされたと思います。</p>
<p>専門分野が必ずしも就職後の働くスキルに直結しているわけではないが、情報化社会で変容するメディアの理解習得は、時事ネタの収集が比較的スムーズにおこなえるという意味で、役に立っていると思う。</p>
<p>卒業後、社会人生活を経て、現在は育児専念のため職には就いていません。かつて就職した会社では大学で学んだことを活かす仕事は特にしていませんでした。今現在子育てをしていて、ニュースや本に書かれていることを子供に説明する際、学んだ知識が活かされることは多々あります。大学での学びが社会人として働く上で役立っているかは分からないが、学生時代経験したことがビジネストークの材料になることはよくある。</p>
<p>大学で学んだことが直接役立つような仕事には就いていませんが、一つの分野に限らず自分の興味があることを幅広く学べたことが、生きていく上での視野を広げてくれたと思います。</p>
<p>大学院へと進学した際、他大学を卒業した学生と比べて、自分は専門性では劣るものの広範な知識で課題を解決する能力があったように思う。</p>
<p>知見が広がる、教養を持った上で社会人との会話ができるといったコミュニケーションスキルの一環としては役立っていますが、仕事に直結するかは本人次第と思います。</p>
<p>本学では“専門性”を他の大学よりも極めていないと思われる一方で、多面的に物事をみる力は養われた。ひとつの物事に対して多くの視点から解決方法を模索することができる</p>

④その他 (n=21)

<p>ガスの専門商社で正社員一般事務をしています。</p>
<p>まだわからない</p>
<p>リベラルアーツとは…笑</p>
<p>わからない</p>

大学で専攻した学問とは違う分野ですが研究職に近い分野で仕事を続けています。

特になし (n=16)

知識・能力・スキル

「本学での卒業までの学びを通して身につけた知識・能力・スキルのうち、特に社会で役立っているものがあれば教えてください。」の設問に対する自由記述を、「知識」「能力」「スキル」「その他」の4つのカテゴリに分けた結果を以下に示す。1つの記述に複数のカテゴリが入っている場合、該当箇所を分割して記載している。

①知識 (n=46)

「家」(家制度など)について、3歳児神話など育児に関するものについて、等。社会人になり、上の世代の(特に男性の方)と話していると、考え方のギャップに悩まされる事があります。大学時代に授業で体系的に学べたことは良かったと思っています。
【プログラミング】 在学中にプログラミングを学んだことで基礎力がつき、別の言語へも対応ができていたため
3, 4年次にゼミでジェンダーについて学んでいました。現在、働いている会社は女性の産前産後休暇が多く、時短勤務などで復帰し活躍している方が多数います。在学中に学んだ知識があったからこそ、一緒に働いていて、そういった方への理解もできていますと感じます。
LGBT 関係の講義
キリスト教に関する理解は会社やその他場面での他者理解に通じるものがあり、円滑な人間関係構築に活かされていると思います。
キリスト教の授業。今まで考えたことのなかった視点で問題を考えることができたことが、社会でも役立っていると感じています。
コミュニケーション専攻を卒業しましたが副専攻で女性学も学びました。女性特有の身体的悩み、ライフステージで迫られる選択から生ずる悩み、男性学から学んだ男性社会の様相などを学び、アンコンシャスバイアスが自分にはないかというのを考えるようになりました。そうした考え方は、他者と会話する時に相手を傷つけない発言を心がけるのを助け、共感性を表現するのに役立っています。また、他者に対してでなく自身のキャリアパスを考える上でも役立っています。
ジェンダーに関する知識。
ジェンダーの授業、コミュニケーションの授業。世界にはさまざまな背景を持つ人で溢れているのだと考えが至るのは、大学に通っていたからだと感じる。
ジェンダー学を学んだことで、多様性を認識するようになった。他の人の気持ちを考えようと努めるようになった。
ジェンダー観
ジェンダー論。
ジェンダー論やキリスト教など、様々な価値観があることを学んだため、自分と違う考え方を受け入れることができていると感じます。
すぐに役立っているわけではないがプログラミング等は考え方の基礎がわかるだけでも理解がしやすくなった。また情報系は大学生当時に理解しきれなかった知識も就職後に結びついたものが多くあり仕事に対して理解が深まった

ネットワーク系の授業。インフラ系の仕事をする基礎過ぎて当たり前みたいになるので、もっとしっかりやればよかったと非常に後悔している。
プログラミング、論理学、宗教学、博物館学、いろいろな考えを持った人がいるという心構え
プログラミング言語（c言語やhtml、Linux）を学んだことがその後の学びの下地になった。
一般教養、常識
一般論とマイノリティーな考え方に対して自分の意見を持ちながらも、共生、共存、相互理解の姿勢で相手の考えをとらえる時に役立っている。
英語の発音。自立した女性になるための知識、教養、能力。
海外と取引する仕事をしているので、文化人類学や宗教学で学んだ知識は役に立っていると思う。
外資系企業とのやりとりがある中で、日常の常識では分かりきれない企業の常識に対応できていると思う。
学芸員過程での物の扱い方や博物館の利用の仕方
基本的なHTML
教職課程、ジェンダー学
教職課程で学んだこと
金融機関に勤めているので経済学
社会で役に立つマナースキルを身につけられました
社会学専攻や経済学専攻、心理学専攻の授業で得た知識。
宗教に多少なりとも触れられたのは大きいと思います。思想の違いに理解を示すことができ、社会情勢を読み解く上でも役立っています。
女性が働く意義を考える力
心理学、社会学
心理学の知識は対人関係構築や設計・企画業務で役立っていると感じます。キリスト教学も海外の方とコミュニケーションを取る上で必要な教養だと思います。
心理学科の中でさまざまな分野に触れさせてもらい、知識が広がった。また、現在スクールカウンセラーなどの仕事をする中で、大学時代に教養の単位取得の範囲で身につけた知識が活かせることが多々ある。特に、性に関する授業での学びはクライアントの背景理解に非常に役立っている。
人間関係を構築する上で心理学が役に立った。
数理学科では、数学のみならず情報系、理科系もトータルに学ぶことができ、基礎学力の向上に役立っていると感じる。
専攻だった中学、台湾の歴史等の知識が世の中の動きを理解することに役立っています。
専攻分野以外での教養が役に立つことがあった。哲学や宗教美術や宗教音楽などから自分の興味の幅を広げることができた
専門としていた学習の知識、学びも(そういう業界を選んだこともあり)役立っている。
卒論作成で得た知識は社会に出てからも役立っています。
多角的な知識

多様性についての知識。
大学で学んだことが仕事に直結することはありません。しかし4年間の学舎でのひとは無駄ではなかったとはっきり言えます。それは東京女子大学で得た人間関係、そして幅広い知識・考え方が社会人生活を送る上で欠かせない自分を形成する要素になっているからです。ここで出会った学友とは地元に戻った今でも連絡を取り合いますし、たくさんの実りある会話ができます。
日本語教育の知識、資格がおおいに役立っています。
日本語教員課程
翻訳
日本語教育
ジェンダー学

②能力 (n=82)

〇〇先生の家族心理学の授業とゼミで、自分の置かれた状況を客観的に捉え、対応できるようになったと思います。
・情報の取捨選択 卒論を経験したことで、自身に必要な情報は何か、たくさんのソースの中から、総合的に判断して、偏らない事実を得ることの大切さも実感している。
・知らない分野を前に対して、まずは自ら調べてみようと思ひ、行動できること。 ・情報収集し、論理的に考えることができること。
・物事を多角的に捉え考える能力
ITシステムに対峙する力。文系として入学したが、専攻では統計ソフトを活用する場面が多く、数字や論理的なデータを分析することへの苦手意識が全くと言っていいほど無くなった
クリティカルシンキング。
グループで問題解決に取り組むこと。
コロナ禍でリモートワークが増えているなか、事務職として働いています。リモートワークでも集中して効率よく業務に取り組めるよう、日々自分で考えています。自分で考え行動する能力は役立っていると思います。
スケジュールやコミュニケーションの調整スキル
ゼミで3社の新聞を比較する経験をしたので、いくつかを比較検討するスキルが身についていると思う。
データ分析や統計のやり方
とある事象を調べたいときに、色々なツールを使って信じられるソースをいくつか取り上げ、正しい知識を得ようとする力は、卒業後も役に立っています。
また、キャリアイングリッシュ課程でのCritical Thinking演習で以前よりも多角的に問題を見ることができている。
一つの情報を鵜呑みにしない探究心
一次情報にあたることの大切さを学ぶことにより情報を読み取ること、多角的な視点を持てまし

た。またジェンダーについて学ぶことができたことは昨今の情勢理解に役立っています。
英語の授業を通して世界のことを知り、視野が広がったこと。新しいことに挑戦すること。卒業論文を書くことを通して、自ら課題を設定し、積極的に課題を見つけ、分析すること。仕事も同じですね。この経験が仕事をする上で役に立っています。
何事にも真面目に取り組む姿勢。
課題にぶつかった時、人に流されず自ら考え行動する力
課題を見つけて粘り強く取り組むこと、チームワークで協力し合うこと。
学ぶ姿勢
学ぶ姿勢を持つこと。
学習意欲の維持。
学習面ではなく、部活動（ラクロス部）で身についた内容が多いです。 -積極的に多方面に働きかける-新しいことに挑戦する -様々な価値観を持つ人と行動を共にする -様々な価値観を持った人に出会い、高め合う -対立する意見にも自らの意見を押し付けるのではなく、打開策や改善策、中立案を見つける
学部の集大成として卒業論文を書いたが、完成に至るまでに身につけた「問題を洗い出し整理すること」「多面的に考えること」「肯定のみ、否定のみに偏らないこと」が社会人として一番役立っている。
基本的なメディアリテラシーの知識が身についたので、日常に溢れるニュースや SNS、人の噂話に惑わされず、客観的な尺度（統計や引用元など）でファクトチェックが出来ること。
期限以内に仕事を計画的に終わらせることができる。学生時代は比較的課題が多かったので、優先順位をつけることを学びました。
協調性、自立性
型にあてはめないで物事を見る力が生かされていると思います。
検索する力。
好奇心・探求心をもって、課題に取り組めること。
考動力
史学専科における学びにおいて、さまざまな視点から歴史を捉えるという力がついたように思います。そういった力が、学校でも、多面的・多角的な授業展開をすることに結びついていると思います。
私の周りが特にそうだったのかもしれないが、主体的でリーダーシップがあり、向上心が高い人が多かったので、自分も知らない間にそのスキルが高まったと思う。
自主性
自分が納得いくまで、物事を掘り下げて考える力。
自分で計画を立てて物事をこなすこと
自分で調べてまとめる能力

自立心。
社会における女性としての立ち振る舞い。自立した女性として、的確な発言が出来るよう行動している一方、柔軟な発想・人間関係の構築の仕方は、非常に役立っている。
社会学で学んだ多角的に物を捉える力のおかげで、何事も自分で考えるという習慣が身に付きました。
社会調査士の資格は、事務仕事の中でも役立っています。
社会調査士等、統計などのスキル。
社会調査法などで学んだ、アンケートの出どころを注視して情報の信憑性を考えるようになったこと。
主体性、問題の発見・解決能力など
主体的な行動。東女は他の大学と違ってサボっていられなかったのが常になにか課題に取り組む癖がついていたのが社会に出てから苦にならなかった。
主体的に考え発言する力
女子大学ということで、性別に関係なく、自身が主体となり行動する力が社会で役立っています。
常に学び続ける姿勢だと思います。
人と議論する力を身に付けたことにより、多角的に意見を取り入れ統括する力を発揮できた。
世の中の事象について、多角的な視点から分析する能力今まで学習してきていない分野に挑戦し、独学するスキル
積極性や能動性は東京女子大学で培ったスキルだと思います。
責任感が身についた
専攻外の授業や総合教養の授業の受講により、幅広い知識と教養を身につけることができ、視野が広がったり、物事を多角的に考えたり、また柔軟に対応できるようになった
全く知らないことを新たに学ぶ力
総合演習ゼミにおいて培った情報収集力と、主体性は今も役立っています
卒論を通して得たロジカル思考、問題解決思考
他学部の講義も進んで受けたことで、未知の分野に踏み込んでいくことに恐怖心がなくなった。
他大学より早い学年からゼミでの学びが充実していると思います。講義形式ではなく、先生方と学生とのやりとりを中心としたゼミの授業のおかげで、主体的にグループに参加することや課題設定・目標設定をしながら仕事に向き合っているかと思っています。
多角的な視点で物事を捉えること。様々な切り口から問題を考察し、改善案を導き出すことは仕事でも大いに役立ちました。
多角的な面から解答をまとめるために考察する能力。専攻上正解がなかったことも今考えるとプラスになっています。
多角的にもものを見る、穏やかに接する力
多角的に物事を考える力。理論的に状況を整理して問題解決に繋げる力。性別に左右されず、一人の人として生きるという意識。

多面的に捉え考える力
多様性、多角的な考え方。学ぶ姿勢。素直な姿勢。
探究精神
締切を守る力
努力を継続する力、見通しをもつ力
東京女子大学での授業が非常に厳しくも学びの多いものであったため、自己管理能力や責任感を身につけることが出来、今も役立っている。
統計の授業、キリスト教の授業（キリスト教の授業のある学部でないと学べないから）
統計やデータの見方（世の中には相関関係と因果関係を混同させている情報が多いので）
忍耐力を身につけられたことは大きいと思います。心理学の実験では、被験者が集まらない、分析の仕方が分からない、仮定とは違う結果が出る、など、思い通りにいかないことも多々ありました。その中で答えを導き出すためにデータを何とか集め、仮定と違う理由は何なのか考え出すなど、忍耐強く向き合っていました。投げ出したくなる時もありましたが、この経験があったからこそ、社会に出た今、逃げずに案件に向き合うことができている。
複数のメンバーで物事を進める経験。心理系の科目で学んだ自己との付き合い方。
物事を広い視点で捉える力
物事を多角的に見ること、自分の意見を持ち、考えて行う姿勢は学びを通して得たように思います。
物事を多角的に見る力。ニュースを見ていても、この視点だけかな？と考えることができる。
物事を俯瞰・多角的に見る力
問題解決能力、行動力
様々な視点から物事を考える力です。どうしても自分の考えや感覚を基準にしてしまいますが、他人の考えも受け入れるスキルは、大学で身についたと感じております。
様々な人が所属する社会や会社の中で、多様な考え方を受け入れ、協調していく力を身につけられたと思います。
様々情報を精査し、正しい情報を見極める力
良好な対人関係を築き、自分に自信を持って生活できる能力が高まった。
論文や分析レポートを書く機会が多く、ファクトチェックやデータを読み解くスキルが役立っています。

③スキル (n=81)

【論理的思考力】業務の改善に向けてPDCAサイクルを適切にまわすことができているため
・コミュニケーション力決して多くはない学生数の学校において、友人や先生方とより密接な関係を築くことが出来た。仕事をする上で、社内外問わず、コミュニケーションを大切にする姿勢が大切だと本当に感じる。
・パソコンスキル
・大学時代、卒論を丁寧に書いていたので文章を書く力が身に付き、今も役立っています。

・目上の方に対する対人関係スキル
ITスキル
ITスキル、文章作成能力
PCの扱いや報告書を作るときには役立っていると思います。
PC操作、プレゼン
PPTを活用したプレゼンテーションスキル
wordで卒業論文等を作成していたので、その点は社会人になる上で役立っていると思う。
エクセルやワードです
キャリアイングリッシュを受講しており、英語力は仕事に役に立っている
キャリアイングリッシュ課程でのライティングやプレゼンの授業は社会でも役に立ったと思います。また、第二外国語で学んだフランス語を卒業後も継続して勉強しており、現在フランスの大学で勉強しております。将来的にはフランス語を使う仕事に就きたいと考えております。第二外国語の授業はその勉強のきっかけとなりました。
キャリアイングリッシュ課程で身につけた語学力や、専攻で学んだ日本語学など、役に立っている。
キャリアイングリッシュ課程で得たスキル
キャリアイングリッシュ課程で得た英語力が役に立ちました。
キャリアイングリッシュ課程で得た知識や発信力・発言力は社会に出ても役立ったと思います。
キャリアイングリッシュ課程を通じた英語のスキル(特にニュース等の読解は今も役に立っている)。
コミュニケーション能力 (n=2)
コミュニケーション能力、IT能力等
ゼミでのディスカッションを通して培った、論理的な説明や意見を伝えるスキル。
ゼミでの発表、ITスキル
ゼミ等で学んだグループで協力し物事を進めること、物事を組み立てて考え、それを発展させること。
ディスカッションのやり方、プレゼンテーションのスキル
パソコンを使った分析や、エクセル、ワードなどの扱いが現在の自営業での経営分析や経営戦略に役立っていると思う、
パワポの作成や、プレゼンの方法も役に立っている
パワポを使っただけのプレゼン能力
プレゼンテーションスキル。
また、キャリアイングリッシュ課程で他学科の生徒との交流、英語力向上、プレゼンテーション機会が得られたことでトータルな基礎学力の向上が得られたと感じている。
また、日本語教員養成課程では、普段何気なく使っている日本語について改めて考えることが出

来たので、仕事において、自分の資料作成はもちろん、後輩が作成した資料の添削にも役立っていると感じている。
レポートを書く機会が多かったため、文書作成能力は社会人になって活かせていると思う。
挨拶程度の英会話、パワーポイントの利用、タイピング
英語での文章作成、会議進行、プレゼンやビジネス英語。英会話スキル。
英語のプレゼンテーション、ディスカッションのクラスはとても役に立った。特に英語でグラフの説明をするなど、実践的なビジネス英語に触れられたことはよかった。
英語の読み書き(留学経験による)。
英語の読解、スピーキングのスキル。
英語力 (n=3)
英語力(キャリアイングリッシュ課程での学びが活かされていると感じる)
仮説を立てて論を作るプロセス
学んで得た知識より、学ぶ際に膨大な資料を読んで得た読解力や、レポート作成で身につけたパソコンスキルは就職していた会社や現在の生活でも役立っていると思います。
基本的な IT スキル
協調性
具体的な能力としてはパソコン、特に Excel です。IT 化が進んでも Excel を使っている企業は多いと思います。
現在の歌手活動の中で英詞をつけることがあります。本学で学んだ英文法が大いに役立っています。
語学力。論理的思考の授業。
在学中、日本文学を専攻し、日本語学に興味を持ち、日本語教員課程をとりました。教案を作ったり、海外の方と交流をすることで、コミュニケーションのツールとして語学に興味を持ちました。現在仕事は営業・販売職です。教案作り、レジュメ作りは社員用の実績報告会の際に作成技術やトーク力に活かされています。お客様に対しては、わかりやすい伝え方(黒板を使い商材について教えたりする機会があります)や、外国のお客様に聞きやすい日本語で話すことに役立ちました。実際、お客様に『あなたの日本語は聞きやすい』と言われたこともあり、とても嬉しくなりました。
自分の意見を言語化する能力
日本語の文章をきちんと読み取る能力
自分の考えを伝える力
自分本位ではなく、まず相手のことを考えて、何が互いにとって良い選択か話し合いながら物事を進めることができるようになってきていると思います。
授業で度々行われたディスカッションや発表の機会から、起承転結でわかりやすく伝えたい事をプレゼンする力がつき、仕事に役立っている。
授業等において他の学生とともに議論する活動で得たスキルは、①筋道を立てて考え、しっかり

<p>とした自分の意見・考えを持つこと②その意見・考えを論理的にはっきり相手に伝えること③相手の意見・考えもしっかり聞き、自分との類似点や相違点をつかむこと④自分や他人の考えを総合的に踏まえ、より良い方向を見極めて活動方針を決定していく、という仕事の進め方の下地になっていると思っています。</p>
<p>周囲と協力する能力</p>
<p>少人数制での英語の授業は役立っていると思う。大学で少人数で英語を学ぶ機会を作っている大学は数少ないと思うので、貴重だった。</p>
<p>情報専攻の専攻授業の中で、必修科目だった授業はとても役に立っている。その他にも、ワードエクセルパワーポイント等、ビジネススキルに直結する授業もあった。</p>
<p>人とのコミュニケーション能力など</p>
<p>図表の作成</p>
<p>性別や世代を問わず積極的なコミュニケーションを図る能力を活かし、交渉やディスカッションを円滑に進めることができている。</p>
<p>正しい日本語を読み書き、話すことの出来る能力は卒業後、社会人となった時に役立った。</p>
<p>正誤に関わらず、自分の考えを論理的に筋道立てて人に説明し、文章にする力が養われたと思います。</p>
<p>接客を含む業務についていた時のことですが、学生当時に外国人の先生方と英語でコミュニケーションをとる機会が多かったので、自身の英語力の問題で流暢に話せる訳ではなくても、外国人のお客様に自身の言葉で意志を伝えることに対して抵抗感が少なく、積極的にコミュニケーションがとれた事により円滑に業務が行えました。</p>
<p>専攻科目が直接的に役立っていることは少ないが、卒業論文等を執筆したことによる、文章構成能力は現在の仕事に活かされていると感じる。</p>
<p>卒業論文執筆にあたり身につけた、データから読み解く力や論理的思考</p>
<p>多少なりとも Mac を触れるというのは社会人になりたての頃に役立った。</p>
<p>多様性への理解</p>
<p>他者の話を聞く力、伝える力</p>
<p>大学での授業(発表形式のもの)で論理性を意識するよう講師に指摘されたり、卒業論文の制作をした経験から意見する際に論理性が増したと感じ、社会でも特に役立っている。</p>
<p>第二外国語で学んだ中国語を少しだけ使う機会がありました。夏期語学研修でアメリカに行った際の経験も活かしていると感じます。</p>
<p>日常的に外国人の先生と英語で授業をして慣れていたので、外国の方とのコミュニケーションにあまり緊張しないで済んだと思います。</p>
<p>日本語でレポートを書く能力</p>
<p>英語で文章を書く能力</p>
<p>文章の読解力</p>
<p>文章をまとめる力</p>

文章力
文章力、英語を読む力などが役に立っている。
論点の概要をまとめて発表するスキル
論理的な思考が、仕事の組み立て方や業務内容の改善に役立っております。
論理的に考えること、多角的に考察することなど。自分の考えに偏らず、色々な考えがあることを理解しながら、人と接することができる。
論理的に考える力。英語力で、様々な媒体から情報を得る力。
論理的思考でしょうか。
論理的思考力。

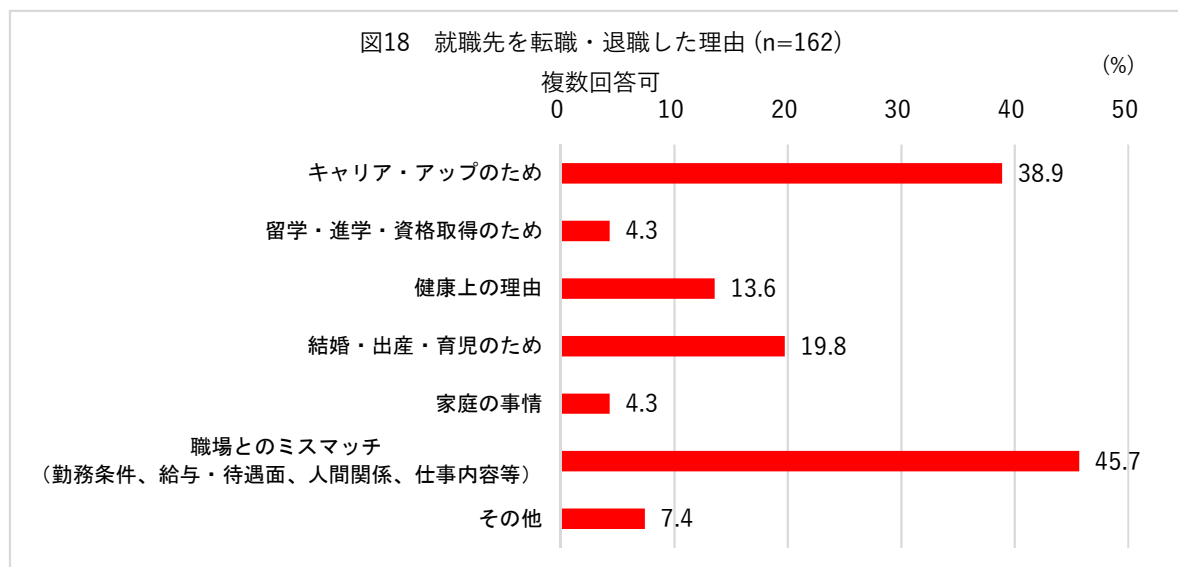
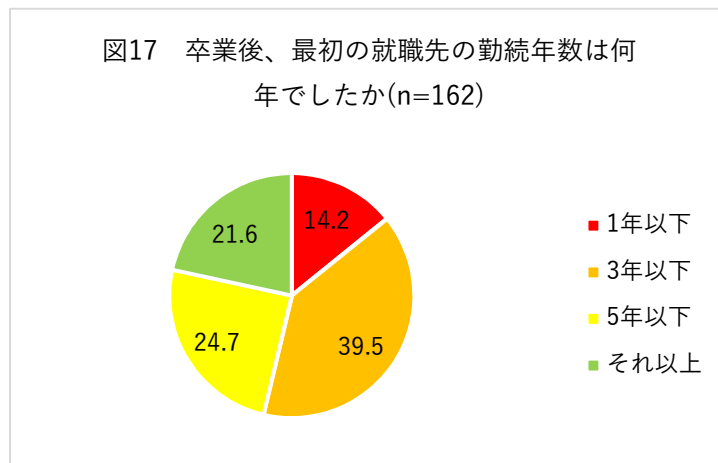
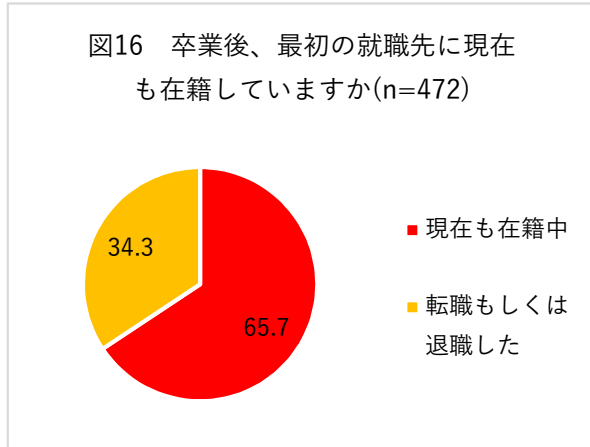
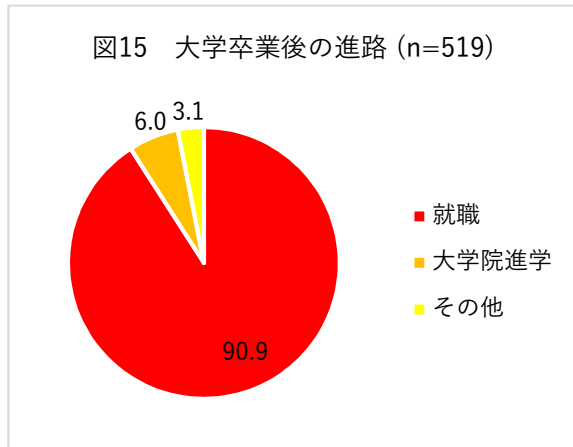
④その他 (n=28)

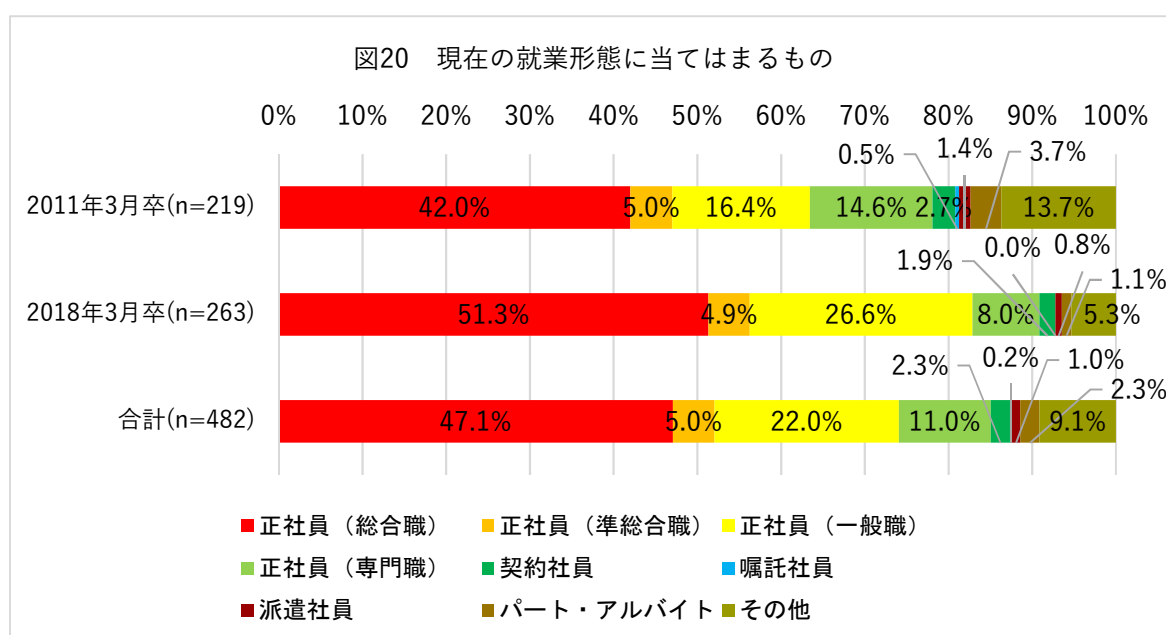
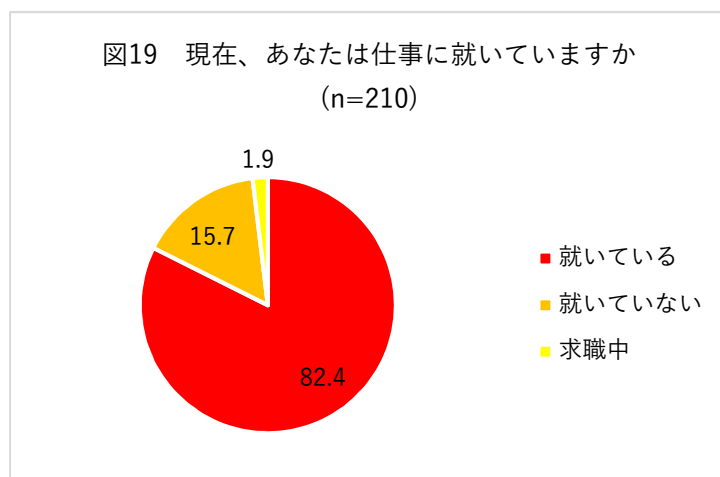
いろんな人がいて、いろんな考えがあるんだなと知ったこと。
いわゆる偏見や差別的な視点を持つ事も抵抗もなくなった。
カウンセリングなど精神的なものに関する療法や医療などを利用する経験。
ゼミでの学び。国連研修での経験。
どんな場面でも“すべて真実なこと”と“service and sacrifice”が自分の根底にあって、TWCUで得た学びの中で何よりも役立っていると感じています。
どんな性別、年代の人とも対等にかつリスペクトをもって接する姿勢。
茜寮で多様な人たちと共同生活を4年間送ったことで、人と人の関わり合いや考え方の違いなどを深く学ぶことができた。
広く浅くでも、様々な分野を学ぶ大切さと、得意分野を学ぶ楽しさ
女性であることに捉われず、たくましく進んでいく力。特に部活やサークルでの活動でも、周りの東女生もしっかりした子がとても多く、そんな環境が作られていた。
女性としての多様な生き方を知り、認め、選択すること(授業や講演、先輩、友人から、女性として生きることの素晴らしさを知ることができた。女子大に行かなければ、男性社会の中で女性であることを卑下しながら生活していたかもしれない。しなやかに生きるということを学んだように思う)
女性の起業の授業で会社員として働きながらやりたい仕事を実現する未来があると、前向きな気持ちになれる知識は、とても支えになっております。
女性の中で学校生活を送ることで、男性に頼らず自分たちで問題解決をしていたことがとても貴重な経験だったと思う。
女性学の中でも女性のキャリア形成については在学中に学んでよかったものの1つです。また、全学共通カリキュラムを活用して学んだ理系科目も、幅広い教養を身につけるきっかけとなり、社会で役立っていると感じる機会がありました。
先生方や同窓生との関わりから広がった興味関心の範囲
大学でチャンスをもたらしたテレビ局でのインターンシップの経験は、今のキャリアに大きな影響を与えてくれていると感じます。

哲学専攻での物事の考え方
特になし (n=8)
<p>日文科目や教職科目については言うまでもありません。広く深く学べたおかげで、今の仕事も何とかこなせているのだと感じます。公開授業を行うと、校長や教頭から高い評価をもらえます。県の研修でも褒めてもらったり、代表として他校の先生たちの前で模擬授業の発表をしたりもしました。現在の勤務校は偏差値の高くない高校ですが、生徒たちから「国語が好きになった」「分かるようになったから楽しい」と言ってもらえることがあり、これは大学時代に先生方から教わった知識はもちろん、先生方の「学問に対する熱意」を思い出しながら取り組んでいるからだと思自負しています。また、図書館が開架式で、関連図書をどんどん手に取っていった(利用しやすかった)のも嬉しかったです。雑学は「深み」になるのだと実感しています。そのほか、ジェンダー論・心理学・キリスト教学・宗教音楽などを履修したのも、多角的な視野を持つきっかけになったと思います。幅広い分野の知識があると、物事を多方面から見ようと思えたり、様々な人との会話の糸口を見つけやすく、人間関係の構築にも役立ったりしています。</p>
必要な単位を考えながら自分の関心のある授業を選択すること。
勉強することの楽しさ
様々な環境で育った学友と、考えをぶつけ合ったことで、自分の価値観が変容したこと。

5. 卒業後の状況

卒業後の進路・就職先などについて尋ねた結果を図15～図20に示す。卒業後は、約9割が就職し、そのうち3割近くが転職もしくは退職を選択した。その理由は、1番が「職場とのミスマッチ」、次に「キャリア・アップのため」だった。現在の就業形態を尋ねた所、約5割「正社員（総合職）」、次に「正社員（一般職）」、3番目が「正社員（専門職）」だった。





「その他」

その他の具体例の記述には以下のようなものがあった。

- ・ 役員
- ・ 正社員（エリア職）
- ・ 公務員（地方公務員・高校教師・外務省・警察官・非常勤）
- ・ 教員（私学・小学校・中学校・専門学校）
- ・ 大学非常勤講師
- ・ 大学助手
- ・ 自営業（漫画家・飲食店）
- ・ 個人事業主・フリーランス
- ・ シンガーソングライター

など